

藤枝市教育委員会

令和5年6月定例会議案

令和5年6月22日

藤枝市教育委員会 6 月定例会議事日程

日 時 令和5年6月22日（木）午前10時から
場 所 藤枝市役所西館3階 303会議室

開 会

会議録署名委員指名

委員

委員

日 程 第1

・ 諸般の報告

○ 教育部長

・ 市議会 6 月定例会議質疑応答要旨

- P 1 -

○ 教育政策課

・ 令和5年度 教育委員会事業評価について

- P 4 -

○ 生涯学習課長

・ 第47回青少年健全育成・第73回社会を明るくする運動
「藤枝市民大会」の開催について

- P 5 -

○ その他

閉 会

市議会 6 月定例月議会 質疑応答要旨

令和 5 年 6 月定例月議会において、各議員より教育に関連する質問がありました。

■一般質問

○ 遠藤久仁雄 議員

標題 1 ハンセン病から多くを学ぶことができる私たち藤枝市民について

(5) 村越化石の生き方を多くの子供たちに知ってもらうことについて

【答弁：教育長】

ハンセン病を患いながらも、努力を重ね「魂の俳人」として数々の賞を受賞した村越化石の作品や生き立ちを子供たちが学ぶことは、大きな教育的価値がある。「化石」という俳号に込めた信念、俳句に詠われる「家族への深い愛」や「強い望郷の思い」について、次代を担う子供たちにはぜひ感じ取ってもらいたいと考えている。

学校では継続的に村越化石を紹介した DVD 「心眼」の授業での活用や、「俳句大会」の作品応募に絡めた紹介など、ハンセン病や村越化石の生涯について学ぶ機会を設けている。今後も、その生涯について学ぶ機会を引き続き設けていく。

【再質問①】

授業における教材研究にあたり、教師の熱意がまだ弱いのでは。人権について意識しているのか、村越化石について何を伝えていくのか。熱意がなければ子供たちに伝わらないのでは。

【答弁：教育長】

子供が村越化石について学ぶ際、俳句の意味や「人権は大事」、というのを言葉で覚えるだけでは何にもならない。子供たちが、村越化石が若くして家族や郷里の離別を余儀なくされた、生涯社会との隔絶を強いられた、病や死の恐怖にさいなまれてきたなどの背景を知ることにより、子供の情動の心の針が強く揺さぶられるような授業であることが大事であり、それが新たな子供の意欲や関心、学びに繋がる。

村越化石生誕 100 周年の事業にあわせて行った、朝比奈第一小の活動が岡部中学校区に広がっている。これは、岡部中学校区内の小中 3 校で、郷土愛の醸成を切り口として、道徳の授業を充実させるよう村越化石の教材研究を深めるもので、3 校が共有していくことを私としても期待している。

教員の人権意識については、子供の人権についての教員用リーフレットを作成し、教員一人一人が子供の人権について振り返り、自己点検できる取り組みを行い、より一層子供の人権に配慮した教育をするよう進めている。教員の資質の向上にも配慮しながら、頑張っていきたい。

○ 川島 美希子 議員

標題 1 藤枝市が目指す農業の将来像について

(4)新給食センターの建設を機に学校給食における地産地消を拡大させるための具体的な取り組みについて

【答弁：教育部長】

新給食センターは、1日あたり最大で1万食を提供する施設となるため、一度に多くの食材を納入できるよう体制の整備を進めている。より多くの地元農産物の納入に向け、学校給食に必要な農産物の種類や量などのデータを基に、安定的に食材を調達できる新たな仕組みを、JA大井川の各種情報ネットワークを活用し構築していく。

食材の調達にあたっては、分割発注により納入者数の増加が予想されるため、設計にあたっては十分な荷受・検収スペースなどを設けるほか、一時的に農産物を保管できる施設を確保していく。

【再質問①】

給食の食材のなかで、ミカンの市内産調達率が0%である理由は。

【答弁：教育部長】

果物については、地元のJA大井川をはじめ複数の青果取り扱い業者に見積もりを依頼したが、昨年度は、台風の影響により出荷量が全年度に比べて半分程度になり必要量が確保できなかったため、応札がなかった。

【再質問②】

どのような市内産の野菜が仕入れやすいか。

【答弁：教育部長】

給食に多く使われている野菜、たまねぎ、ニンジン、じゃがいもなどは、年間を通じて使用量が多く、その一部を市内産にできる可能性がある。きゅうり、チンゲン菜などは市内産の納入実績があるため、これらを増やしていきたい。

【再質問③】

分割発注により、小規模な生産者でも受注することは可能か。

【教育部長】

少量でも分割して発注することで、小規模生産者が納入しやすくなる。また、現在は規格にあわず納入できないものを、下処理を行う機器を導入したり、検収検品の体制を整えることで、納入機会が今後増えると思われる。

【再質問④】

農業振興課とどのように連携していくのか。

【答弁：教育部長】

農業振興課とは、J A大井川を交え、地産地消の考え方、給食での使用食材の現状、農産物の作付けの動向などの情報交換・共有と、今後の事業展開を議題とした会議を行っている。

農業を守り、持続していくのは喫緊の課題であるが、学校給食用の食材の使用率を上げることが、耕地面積拡大や就農者の増加の一端を担っていければと考えている。そのため、農業振興課をはじめとした関係部署間で、納入食材の拡大や生産状況等の情報を共有するほか、課題解決のための協議を、今後も定期的に行っていく。

【再質問⑤】

地産地消とコスト面を両立させるためとして、農家からの買い取り価格を下げないようお願いしたい。

【答弁：産業振興部長】

産業振興部としても、学校給食へ農産物を届けることが生産者にとっての喜び、そして収入につながっていくよう、生産者の育成と掘り起こしをしていく。

令和5年度 教育委員会事業評価について

(教育政策課)

1 教育委員会の事業評価とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育委員会が行う事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていきます。

市が令和4年度の重点戦略事業として位置付けた5事業について、教育環境の充実を総合的に推進することを目的に、各方面の有識者からなる「藤枝市子ども未来応援会議」に「教育委員会事業評価部会」を設け、必要性、有効性等の観点から事業評価を実施します。

2 スケジュール

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 評価部会の開催 | 7月24日(月) |
| (2) 定例教育委員会への報告 | 8月10日(木) |
| (3) 議会報告 | 9月定例会議会 |
| (4) 公表 | 議会報告後、ホームページ掲載により公表 |

3 評価対象事業

No.	事業名	担当課
1	学校施設環境の充実	教育政策課
2	特別支援教育支援員等活用事業	教育政策課
3	新学校給食センター整備事業	学校給食課
4	藤枝市民大学の創設	生涯学習課
5	電子図書館導入事業	図書課

4 評価部会員

No.	氏名	所属団体等
1	葛西 志帆(新)	PTA連絡協議会(大洲小)
2	若杉 友美(新)	県立藤枝特別支援学校
3	黒岩 一雄	常葉大学
4	山下 由花	校長会
5	松永 由弥子	静岡産業大学

資料 3

第 47 回青少年健全育成・ 第 73 回社会を明るくする運動「藤枝市民大会」の開催について

(生涯学習課・市民相談センター)

- 1 概 要 家庭、学校、地域社会が連携して、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境づくりと明るい社会の実現に向けて取り組むことを目的に「藤枝市民大会」を開催する。
- 2 日 時 令和 5 年 7 月 1 日(土) 午前 9 時 15 分～正午
- 3 会 場 藤枝市生涯学習センター ホール
- 4 内 容
 - (1) 開 会
 - (2) 市歌斉唱
 - (3) 主催挨拶
 - (4) 内閣総理大臣メッセージ披露
 - (5) 来賓者挨拶
 - (6) 表 彰
青少年健全育成功労者表彰 (会長表彰)
青少年補導永年功労者表彰 (市長表彰)
社会を明るくする運動標語入賞者表彰 (市長表彰)
 - (7) アトラクション
藤枝少年少女合唱団による合唱
 - (8) 記念講演
講 師 土井 隆義 氏 (筑波大学人文社会系教授)
演 題 「今日の友人関係をめぐる光と影」
～子どもたちはどんな日常を生活しているか～
 - (9) 閉会
- 5 主 催 藤枝市青少年健全育成推進会議
藤枝市青少年問題協議会
社会を明るくする運動藤枝地区推進委員会
- 6 その他 心豊かでたくましい青少年を育成するための「青少年健全育成」運動と、犯罪のない明るい社会を築くための「社会を明るくする運動」は、青少年の非行防止という共通の目標を掲げている。
家庭・学校・地域社会が一体となって、次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長していける社会を実現していくため、7月の「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」に合わせ、市民大会を合同で開催し、運動に対する市民の理解と協力を求める。

青島中学校の地域企業等との連携活動について

(教育政策課・商店街活性化推進室・サッカーのまち推進課)

1 要 旨

青島中学校の総合学習において、昨年度から地域企業等と学校との連携を深めている。

2 連携方法等

昨年度、1年生（現2年生）の総合的な学習にて、「藤枝の魅力を発信する企画案を作成せよ！」というミッションのもと、6つのテーマを設定し、藤枝をよりよい街にするための企画を1人1案ずつ提案した。提案にあたっては、藤枝駅前商店街振興組合をはじめとした関係者がそれぞれの知見を活かしたアドバイスを行い、企画案発表会で最優秀賞及び特別賞が選定された。本年度、商店街や地域の企業等が具体化を検討・実現する取組が行われている。

3 連携結果

(1) 藤枝MYFC夏季限定ユニフォームのデザイン作成・採用

- ・市の木「マツ」、市の鳥「ウグイス」、市の花「フジ」といった、藤枝市の要素を取り入れたもので、今までにない和風テイストのユニフォームに仕上がった。
- ・7月22日（土）開催の対ツェーゲン金沢戦からのホームゲーム3試合で着用される予定。
- ・6月上旬に行った、MYFCプレスリリースにあわせた限定販売（250着）では、2～3日で完売。



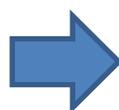
(2) 藤枝MYFCコラボTシャツのデザイン作成 (調整中)

- ・藤枝の魅力のひとつであるサッカーをより多くの人に知ってもらい、好きになってもらいたいという思いでデザインされた。
- ・歴代ユニフォームよりもカラフルになるようにし、採用する色も藤枝を表す「藤」や「茶」を用いた。



(3) オリジナル弁当「藤姫 (ふじひめ)」の開発

- ・藤枝の特産物を活かし、あわせて材料の無駄を出さないエコを意識した弁当をデザイン。素材には、お茶やしいたけをふんだんに使用。
- ・喜久屋 (市内駅前1) により実現。お茶混ぜご飯では茶殻を使うなど、無駄なく食べ物を有効活用できるレシピとした。
- ・3月2日には、青島中で試食会を実施、併せて教員や市職員など関係者に34食を販売した。



4 公表等 (いずれも調整中)

- (1) MYFC ホームゲーム (7/22) へのユニフォームデザイン作成生徒の招待
 - ・試合前の限定ユニフォームお披露目と併せて、作成した生徒や学校活動の紹介
- (2) 藤枝駅前商店街振興組合「納涼市」(7/23)での青島中ブースの設置
 - ・夏季限定ユニフォーム、Tシャツ、弁当の販売(いずれも数量限定)
 - ・青島中学校生徒による販売補助

※ (1) (2) とともに、詳細が決まり次第、市がプレスリリースする予定。

「Fujieda Conversation Club」の実施について

(教育政策課)

1 概要

本市の英語教育は、全 27 校の小学校 3 年生以上を対象に JETALT 9 人及び地域 ALT10 人の併せて 19 人で英会話授業を実施している。

これまで課外活動として、児童生徒が、英語に慣れ親しむとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を高めることを目的とし、年 4 回程度 English Camp を行ってきた。この活動には、毎回小中学生が多数参加し、クイズ大会や、クリスマス等各行事に合わせたイベントを ALT と行い、英語によるコミュニケーションを楽しんできた。

そこで、令和 5 年度からは、英語教育をさらに加速させるため、市内各中学校で、英語に興味・関心が高い生徒や、英語を得意とし、英語によるコミュニケーション能力をさらに高めたいと希望する中学生に対して、水曜日放課後の時間を使って、少人数で ALT と会話活動を行う、「Fujieda Conversation Club」を開始する。

本活動を通して、英語に対する関心を深め、各校で英語を話す中学生のリーダーとして活躍する生徒、将来にわたり英語を使って活躍できる生徒の育成を目指す。

2 目的

英語教育の充実は、第 6 次総合計画に定められ、本市が力を入れている項目である。

ALT による英会話授業は、小学生で慣れることに重視し、中学生は 1 対 1 での会話が成立できるように展開し、将来的には日常的に英語が話せる人材を育てることを目的とする。

3 活動計画

【Round 1】

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 6 月 21 日 (水) 青島北中学校 | (2) 6 月 28 日 (水) 青島中学校 |
| (3) 7 月 5 日 (水) 西益津中学校 | (4) 7 月 12 日 (水) 藤枝中学校 |
| (5) 7 月 19 日 (水) 葉梨中学校 | (6) 9 月 6 日 (水) 高洲中学校 |
| (7) 9 月 13 日 (水) 大洲中学校 | (8) 9 月 20 日 (水) 岡部中学校 |
| (9) 9 月 27 日 (水) 瀬戸谷中学校 | (10) 10 月 4 日 (水) 広幡中学校 |

※活動時間：帰りの会終了後 1 時間程度 (3 時から 4 時)

※参加生徒数：各校 25 人まで

※参加 ALT：各回 5 人

【Round 2】

10 月 11 日 (水) 以降順次開催予定

4 活動内容

- ・開会の式、アイスブレイク：5 分
- ・会話活動 7～8 分×5 セット：50 分
(会話内容：【Round 1】自分が行きたい場所 【round 2】将来の夢)
- ・閉会の式、アンケート：5 分

5 予算科目・金額

10.1.3.122-6-4 学校国際交流推進事業費 500,000 円